

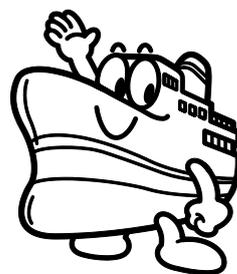


発行責任者
隠岐広域連立
隠岐病院長
西郷町城北町 355

世界糖尿病デー

関連イベントのお知らせ

「ブルーライトアップしますー



世界糖尿病デー

世界的な糖尿病人口は2025年には2007年より約65%増加し3億8000万人に、特にアジア・中東・アフリカ等では2倍になると予測されています。日本でも平成18年に40才以上の3人に1人が糖尿病または糖尿病予備軍であると発表されました。このような糖尿病の脅威的な世界的状況を踏まえ、国際連合(国連)は2006年、11月14日(イースリン発見者バンティンの誕生日)を「世界糖尿病デー」に指定し、世界各地で糖尿病の予防、治療、療養を喚起する啓発運動を

推進することを呼びかけました。

「ブルーライトアップイベント」

2007年、第1回世界糖尿病デーを記念して糖尿病の予防と治療に対する啓発をするためにエンパイアステートビルやエッフェル塔、万里の長城など世界各国の代表的建造物約180カ所が国連のシンボルカラーである“ブルーの光”でライトアップされました。日本でも東京タワー、通天閣をはじめとする全国20カ所以上の建造物がライトアップされ各地で協力イ

ベントや糖尿病の驚異を訴える講演会等が催されました。島根県では、2007年1回目の松江城をかわきりに毎年11月の糖尿病週間に合わせ、浜田のどんちつち時計台・益田グラントワおろちモニュメント・出雲ドーム等のライトアップを経て昨年は再度松江で駅前テルサがきれいなブルーに染まり、多くの住民のみなさんが集まり糖尿病について深く知る機会となりました。

そして今年も隠岐で！！

隠岐圏域糖尿病対策検討委員会において平成22年12月〜平成23年2月の3ヶ月間隠岐島後地区全ての医療機関へ通院している糖尿病患者様全数の実態把握を行ったところ、隠岐の島町の20才以上人口の8.6%にあたる1120名が糖尿病と診断され通院治療を受けており、1年間で新たに糖尿病と診断された方が90名でその中でも60代が最も多く、また70才以上の糖尿病の方は40%近い割合でした。全国統計と比較しても隠岐の島町は糖尿病の罹患率が高い結果でした。対策委員会ではその他血糖コントロール状況や眼科受診状

況・栄養相談状況等を調査した上で糖尿病対策を検討しました。

糖尿病は病気の中でも自分で防ぐことのできる、コントロールしていくことのできる病気です。糖尿病を予防することは、高血圧を防ぎ、高脂血症を防ぐことにつながり、また糖尿病をより良い状態にコントロールすることは心筋梗塞・脳梗塞・腎症・網膜症などの生活を脅かす合併症を防ぎより健康な生活を送ることにつながります。現在、各医療機関や行政では限られた医療資源の中で患者様の紹介や逆紹介、栄養相談、眼科紹介の効率化を図ることや糖尿病連携手帳の利用促進などに取り組んでおります。

地域住民をあげて若い学生さんも働き盛りの人も高齢の方もみんなで健康になろうという思いをこめて、今回**隠岐で！**隠岐を象徴する**フェリーをライトアップして！イベントを開催します。**たくさんのご参加をお待ちしています。

世界糖尿病デー
実行委員会事務局

【世界糖尿病デー記念講演会】

日時：平成 25 年 11 月 9 日（土）

場所：西郷港ターミナルビル

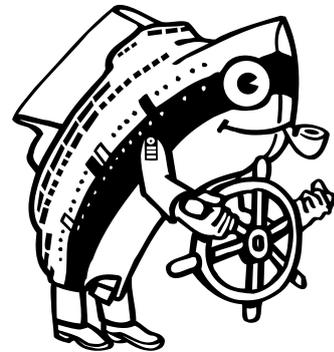


≪2 階会場≫

16 時 00 分 受付開始

展示物案内

- ・日本糖尿病協会・患者会の紹介（ポスター・パンフレット・患者会登録）
- ・糖尿病とは（ポスター・パンフレット展示）
- ・栄養コーナー（ポスター・パンフレット・フードモデル・献立・カロリークイズ）
- ・健康相談（Dr.K がなんでもお答え致します(*^~^v)）
- ・健康チェックコーナー（体組成測定：筋肉量・体脂肪・内臓脂肪等）
- ・血管年齢測定（1 人 5 分程度）無料！！
- ・クイズラリー（景品：先着 50 名！！）
- ・青風船（先着 100 個）
- ・みんなでつくろうブルーサークル◎



≪3 階会場≫

17 時 00 分 開始

第 1 部 講演会 『健やかに長生きする秘訣』

講師 益田赤十字病院 第 3 内科部長 佐藤 利昭

第 2 部 音楽の効用（ヒーリングミュージック）

演奏 島根県立隠岐高等学校吹奏楽部

合唱 男声合唱団隠岐グリーンクラブ

独唱 声楽（ソプラノ）勝部 奈緒 ピアノ 伊勢 祐香

18 時 15 分 終了

【隠岐汽船フェリー “ブルーライトアップ” 点灯式】

≪2 階会場≫

18 時 30 分 開会

18 時 50 分 点灯

19 時 00 分 閉会

※点灯時間

当日 18 時 50 分～22 時 00 分



隠岐病院屋上ヘリポート の使用状況について

平成24年11月8日屋上ヘリポート運用開始以降、平成25年9月末までの約11カ月の期間において、緊急転院搬送は73件ありました。うち54件で屋上ヘリポートを使用しました。

屋上ヘリポートが開港され本土医療機関へ直接転院搬送できるようになったことで、飛行場まで移動する必要がなくなり、患者様の負担軽減に繋がっています。

また、ヘリコプターが到着する直前まで病院内で医師・看護師の管理下で治療・観察ができれば、安心・安全な医療の提供と、救命率の向上にも繋がるものと考えられます。



周辺住民の皆様には騒音等でご迷惑をお掛けしておりますが、引き続きご理解ご協力ください。引き続きようお願い申し上げます。

平均搬送時間（要請をかけてから搬送先医療機関に到着するまで）

屋上ヘリポート使用時：54件 （島根県ドクターヘリ：40件） （島根県防災ヘリ等：14件）	1時間37分 （1時間30分） （1時間56分）
飛行場等使用時：19件 （島根県ドクターヘリ：7件） （島根県防災ヘリ：1件） （海上保安庁飛行機、自衛隊輸送機等：11件）	2時間41分 （1時間59分） （2時間12分） （3時間11分）



搬送先医療機関別件数

松江赤十字病院	33件
島根県立中央病院	19件
島根大学医学部附属病院	9件
鳥取大学医学部附属病院	2件
その他（血液搬送等含む）	10件

疾患別件数

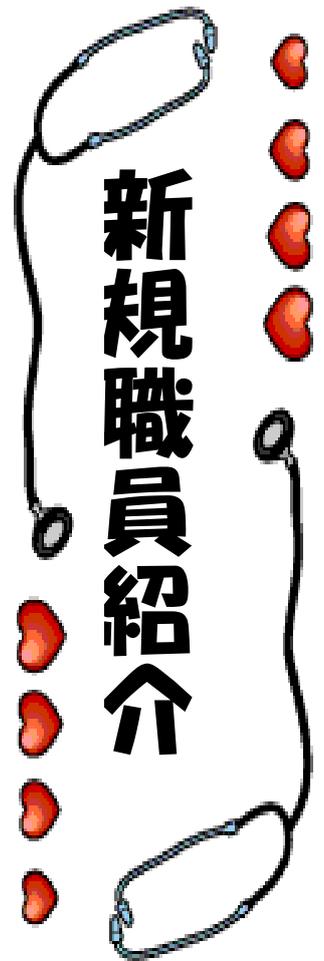
心血管系疾患	17件
脳神経疾患	13件
産婦人科疾患	4件
消化器系疾患	19件
その他	20件

搬送時間帯別件数

日中	60件（屋上ヘリポート48件）
夜間	13件（屋上ヘリポート6件）

性別及び平均年齢

男性・平均年齢	47件・61歳
女性・平均年齢	26件・63歳

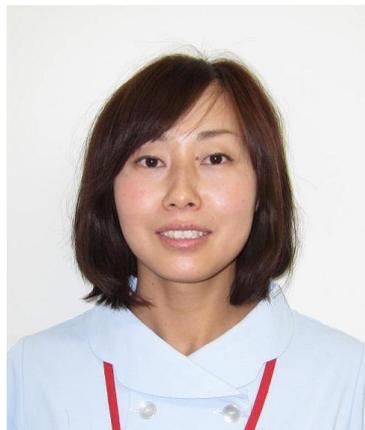


新規職員紹介

10月1日より着任させていただきました整形外科 井上尊人と申します。私的にも公的にも隠岐に来ることが初めてのため、わからないことが多く、ご迷惑をおかけいたしますが、宜しくお願ひ申し上げます。場所やお店、観光スポットなども全くわからず、隠岐の生活についてもいろいろと教えてください。



整形外科医師 井上 尊人
たかひと



7月より歯科口腔外科で勤務しています村上です。患者さまとの信頼関係を大切にし、安心で安全な医療を提供できるようスタッフ一丸となつて頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

歯科衛生士 村上 春代



かぜ予防のポイント

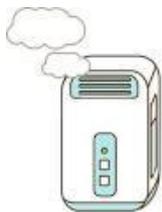
① しつかりと睡眠をとり、バランスのとれた食事と適度な運動を続け、体力維持に努めましょう。

② 石鹸を使い、しっかりと手を洗いましょう。

③ 口の中やのどの奥は、ウイルスの上陸地点のひとつです。外出後は、しっかりとうがいをしてきましょう。

④ 室内の湿度を適度に保ちましょう。

⑤ 流行期には人ごみを避け、かぜにかかったら、マスクをつけ感染の広がりを防ぎましょう。



うがいをしよう



てをあらおう



あとがき
あとがき

秋は、行事が目白押しです。当院でも世界糖尿病デーイベント行事がありますし、今年は初めて「隠岐病院祭」を開催します。病院祭は、地域の人のつながりをより深めるために、最近この病院でも開催されるようになりました。

大きく4つの企画に分かれています。ステージイベント、やってみようのコーナー、みて、まなぶコーナー、たべるコーナーです。

ステージイベントでは、園児の踊りもありますし、しまねっこもきてくれるよう交渉中です。院内探検ツアー、胃カメラをドクターの気分で作ってみよう！等々、実行委員とまどいながら楽しんで準備しています。ぜひ、11月24日(日)は隠岐病院祭におこしくください。

病院祭実行委員 S